


分野	12	就学前教育・保育	通番 11
施策	121	就学前教育・保育基盤の充実	
5年後の目標		待機児童が解消し、子育てをしながら安心して仕事を続けられる環境が充実している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	保育所施設整備事業		会計	款	項	目	642,989,720	福祉政策室
			一般	3	2	2		
事業の概要								
待機児童を解消するため、公立保育所の増築・改築等の整備を行うとともに、民間保育園の設立を支援し、入所定員の増員を図ります。 開田保育所は、移転・新築で平成28年4月、神足保育所は、増築・改修で平成30年4月、新田保育所は、移転・新築で平成31年4月にそれぞれ開所します。								


令和元年度の取組							
D (取組)	指標(～H29年度)	公立保育所の耐震化割合(5施設)				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	3/5(神足、深田、滝ノ町保育所が耐震化済) (平成26年度)	目標	4/5 (開田保育所耐震化完了)				
		実績	4/5				
	指標(H30年度～)	公立保育所及び民間保育園の利用定員合計				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	1,510 (平成29年度)	目標			1,708	1,911	1,911
		実績			1,740	1,891	
	指標	4月1日時点待機児童数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
28(平成26年度)	目標	60	50	20	0	0	
	実績	78	60	72	69		
<ul style="list-style-type: none"> ・新田保育所の移転・新築工事が平成31年4月に完了し、令和元年5月に開園しました。 ・施設整備費の助成を行った民間の認可保育園(さくらんぼ保育園)が平成31年4月に開園しました。 ・民間の認可保育園(長岡京コペル保育園)に対して施設整備費の助成を行いました。 					 平成31年4月に完成した新田保育所		

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和元年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	評価指標	保育所希望入所率			・小規模保育施設等の継続した施設整備により、保育ニーズへの対応については概ね改善していますが、今後の大規模マンション開発等による保育ニーズの増加や、小規模保育施設卒園児の受け入れの状況については、引き続き注視が必要です。	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新田保育所の移転・新築工事の完了に伴い、令和元年5月から入所定員を増員しました。(120名→180名) ・平成31年4月にさくらんぼ保育園(定員110名)が開園しました。 ・令和2年4月に長岡京コペル保育園(定員110名)が開園予定です。 ・公立、民間保育園(小規模含む)をあわせた定員は、平成31年4月1日時点で1,891名(昨年度比151名増)となっています。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所の増改築や民間保育園の設立支援により利用定員は年々増加していますが、平成31年4月1日時点も69名(昨年度比3名減)の待機児童が生じています。保育料無償化による保育需要の増加や、大規模マンションの建設予定等もあり、引き続き保育環境の充実に向けた取り組みが必要です。 					

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1	計画通りに進めることが適当	・待機児童の減少・保育環境の充実に向け、民間の認可保育園(長岡京コペル保育園)が令和2年4月に開園予定です。また、今後のマンション開発等による保育ニーズの増加に対応できるよう、100人規模の民間保育園の増設を検討していきます。

分野	12	就学前教育・保育	通番 12
施策	121	就学前教育・保育基盤の充実	
5年後の目標		待機児童が解消し、子育てをしながら安心して仕事を続けられる環境が充実している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	もうすぐ一年生事業		会計	款	項	77,493	学校教育課
			一般	10	1		
事業の概要							
<p>幼稚園や保育所等の幼児が小学校へ体験入学することで、小学校入学後の生活習慣や学習習慣の変化に対応できるようにします。</p> <p>また、保育所・保育園・幼稚園等と小学校の教員による、保幼小連携会議で互いの教育・保育内容の理解を深め、就学前機関から小学校への円滑な移行を図ります。</p>							

令和元年度の取組							
D (取組)	指標	「もうすぐ一年生事業」に取り組む小学校数				単位	校
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	10	10	10	10	10
	10(平成26年度)	実績	10	10	10	10	
<p>・給食体験と学習体験等を各小学校で実施しました。給食は、5年生或いは1年生、他の学年も含めて教室やランチルームで喫食しました。</p> <p>・1年生の教室にて1年担任による一斉指導スタイル(授業はじまりの挨拶、先生の指示、挙手して発言する、プリントの配布、授業終わりの挨拶)の授業体験をしました。</p> <p>・「長岡京市保幼小連携会議」にて、「もうすぐ1年生体験入学事業の趣旨理解」「講演会」「実践報告(長岡第九小・神足保育所・きりしま保育園)」「日常的な取組等の協議」を行いました。8(市内10小学校、5幼稚園、13保育所(公立及び認可))</p> <p>・乙訓局主催の乙訓地域保・幼・小連携教職員研修会に参加し、実践交流を行いました。</p>					給食体験風景		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和元年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応員
		—			—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児にとっては、入学前に小学校生活をイメージでき、期待を膨らませると共に小学校生活への不安の解消につながる良い機会となりました。 ・教職員にとっては、互いの指導・支援方法を交流することで、就学前機関から小学校への接続を意識し、幼児・児童への指導支援に活かされています。 ・小学校児童にとっても、幼児と交流する中で、自己肯定感を高める良い機会となりました。 ・全体研修会やもうすぐ一年生の具体的な活動を通し、小学校と就学前機関との情報の共有化及び連携が深まり、接続プログラムの整備が進みました。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・給食体験は、幼児のアレルギー対応の徹底が課題です。(情報の把握) ・公開保育や小学校の研究発表会に、『就学前の生活と教育』という視点での積極的な保幼小の教員の参加が望まれます。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容の充実をはかることにより、全ての小学校と市内の全ての保育所、保育園、幼稚園が参加して、教職員のみならず保護者も含め、保幼小連携の意識を高めると共に、積極的な教員の参加を促していきます。 ・接続カリキュラムについても検証を行う中での改善を進めていきます。